2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名　ローランド株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　7944　　URL　https://www.roland.com/jp/
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長 CEO　(氏名)　蓑輪　雅弘
問合せ先責任者　(役職名)　執行役員 CFO　(氏名)　清水　義之　(TEL) 053-523-0230

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	77,665	11.6	9,009	45.7	8,744	48.8	6,993	28.6
2025年12月期第３四半期	69,570	△0.1	6,183	△4.6	5,876	10.4	5,438	26.8

(注) 包括利益　2026年12月期第３四半期　6,949百万円(　73.7%)　2025年12月期第３四半期　4,000百万円(　△36.0%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	264.99	―
2025年12月期第３四半期	204.46	203.98

(注) 2026年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	85,851	43,909	50.8
2025年12月期	83,477	41,364	49.2

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　43,596百万円　2025年12月期　41,078百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	85.00	―	85.00	170.00
2026年12月期	―	85.00	―		
2026年12月期(予想)				85.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	10.0	12,000	27.5	11,600	28.6	9,300	329.0	352.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※詳細については、本日(2026年11月11日)公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	26,580,659株	2025年12月期	26,580,659株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	167,864株	2025年12月期	208,367株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	26,391,142株	2025年12月期３Ｑ	26,599,864株

（注）普通株式の期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託及び従業員向け株式給付信託が保有する当社株式を含めています。なお、当該信託口が保有する当社株式の期中平均株式数は、前第３四半期連結累計期間は174,843株、当第３四半期連結累計期間は156,999株です。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。連結業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2026年11月11日（水）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（１株当たり情報） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く世界経済は、主要国における景気動向が総じて底堅く推移する一方で、中東情勢の緊迫化に伴い、エネルギー価格や原材料調達をめぐる懸念が強まる局面となりました。また、生成AI需要の拡大を背景とした半導体メモリ価格の高騰や需給逼迫に加え、米国関税政策の変更や為替の変動など、当社を取り巻く事業環境は、引き続き先行き不透明な状況となりました。

楽器市場においては、コロナ禍における在宅需要の拡大後、社会活動の正常化に伴う需要の反動減が長期にわたり継続していましたが、現在は緩やかな回復局面にあると認識しています。一方で日々刻々と変化する外部環境の中、需要状況にも地域ごとに濃淡が見られるなど、依然として動向の注視が必要な状況が継続しました。

当社においては、足元の環境変化に対する短期・中期での対策立案と実行に取り組むとともに、世界3拠点目となる直営店を米国ニューヨークにオープンするなど、中期経営計画に沿った戦略を着実に進めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、77,665百万円(前年同期比11.6%増)となりました。損益につきましては、営業利益は前期に支払った米国関税の還付を計上したことから9,009百万円(前年同期比45.7%増)、経常利益は8,744百万円(前年同期比48.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,993百万円(前年同期比28.6%増)となりました。

製品カテゴリーごとの販売状況（対前年同期比）は以下のとおりです。

（鍵盤楽器）売上高21,850百万円(前年同期比19.8%増)

電子ピアノは、ポータブルタイプを中心に需要回復が継続し、大変好調に推移しました。また、中期経営計画で掲げる「Direct Connect」戦略に沿った新製品である、当社初のWi-Fi機能搭載電子ピアノ「FP-40」とピアノ学習アプリ「Piano Sphere」をリリースしました。

（管打楽器）売上高22,544百万円(前年同期比11.8%増)

電子ドラムは、昨年発売した新製品群が堅調に推移しました。Drum Workshop, Inc.社（DW社）のアコースティックドラムにおいては、営業強化及び新製品投入により好調に推移しました。

電子管楽器は、主力市場である中国において、競争環境激化の影響を受け、引き続き厳しい事業環境となりましたが、その他の地域では好調に推移しました。

（ギター関連機器）売上高19,004百万円(前年同期比8.5%増)

ギターエフェクターは、コンパクトエフェクター、マルチエフェクターともに、堅調な需要に加え、新製品群の効果により好調に推移しました。楽器用アンプは、新製品効果の一巡などによりやや低調となりました。

（クリエーション関連機器＆サービス）売上高10,033百万円(前年同期比7.0%増)

シンセサイザーは、前年投入した大型新製品の需要反動減及び一部製品の在庫切れなどにより低調となりました。

ダンス&DJ関連製品では、マーケットの活況に加え、昨年発売した大型新製品の需要が高止まりするなど、大変好調に推移しました。

ソフトウエア/サービス分野では、ユーザーのLTV(ライフタイムバリュー)を高めるためのコンテンツやサービスの提供を継続し、販売金額は引き続き増加しました。

（映像音響機器）売上高1,843百万円(前年同期比11.8%減)

ビデオ関連製品は、物件納入の減少により低調となりましたが、当第3四半期に投入した4K対応新製品により回復傾向となりました。

地域ごとの販売状況等の詳細につきましては、当社IRサイトに掲載しています決算説明会資料をご参照ください。https://ir.roland.com/ja/ir.html

（２）財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して2,373百万円増加し、85,851百万円となりました。その主な要因は、次項に詳述するキャッシュ・フローの状況により現金及び預金が3,180百万円減少した一方で、棚卸資産が5,780百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して171百万円減少し、41,941百万円となりました。その主な要因は、仕入債務が2,894百万円増加した一方で、借入金が3,027百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して2,545百万円増加し、43,909百万円となりました。その主な要因は、配当金の支払いにより剰余金が4,513百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益が6,993百万円あったことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して1.6ポイント増加し、50.8％となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間において現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、3,180百万円減少（前年同期は1,174百万円減少）し、期末残高は12,695百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、主として税金等調整前四半期純利益及び運転資金の増加により、5,423百万円（前年同期に得られた資金は6,014百万円）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、主として有形固定資産の売却による収入があったものの、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出により、528百万円（前年同期に使用した資金は4,300百万円）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、主として借入金の返済や配当金の支払いなどにより、8,206百万円（前年同期に使用した資金は3,457百万円）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2026年2月13日に公表しました連結業績予想を修正しています。詳細につきましては、本日(2026年11月11日)公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,876	12,695
受取手形及び売掛金	13,353	13,590
商品及び製品	18,829	23,985
仕掛品	1,438	1,884
原材料及び貯蔵品	7,052	7,231
その他	2,972	2,655
貸倒引当金	△728	△775
流動資産合計	58,795	61,267
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,553	9,631
土地	2,338	1,809
その他（純額）	2,342	2,663
有形固定資産合計	14,234	14,104
無形固定資産		
その他	3,026	2,809
無形固定資産合計	3,026	2,809
投資その他の資産		
投資有価証券	759	777
その他	6,759	6,999
貸倒引当金	△99	△106
投資その他の資産合計	7,420	7,669
固定資産合計	24,681	24,583
資産合計	83,477	85,851

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,841	9,735
短期借入金	1,100	―
1年内返済予定の長期借入金	2,570	2,570
未払法人税等	411	1,123
賞与引当金	879	1,010
役員賞与引当金	22	65
製品保証引当金	411	416
その他	7,934	6,910
流動負債合計	20,170	21,831
固定負債		
長期借入金	18,490	16,562
株式給付引当金	248	224
役員株式給付引当金	47	63
退職給付に係る負債	280	263
資産除去債務	100	75
その他	2,775	2,919
固定負債合計	21,942	20,110
負債合計	42,113	41,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,641	9,641
利益剰余金	18,965	21,452
自己株式	△342	△240
株主資本合計	28,264	30,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	36
為替換算調整勘定	9,845	10,229
退職給付に係る調整累計額	2,930	2,477
その他の包括利益累計額合計	12,813	12,743
非支配株主持分	286	313
純資産合計	41,364	43,909
負債純資産合計	83,477	85,851

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年 1月 1日 至 2025年 9月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年 1月 1日 至 2026年 9月30日）
売上高	69,570	77,665
売上原価	39,417	42,169
売上総利益	30,153	35,496
販売費及び一般管理費	23,969	26,487
営業利益	6,183	9,009
営業外収益		
受取利息	31	159
受取配当金	36	37
助成金収入	－	28
雑収入	34	－
その他	25	8
営業外収益合計	128	233
営業外費用		
支払利息	186	206
為替差損	241	286
その他	6	6
営業外費用合計	434	498
経常利益	5,876	8,744
特別利益		
固定資産売却益	0	558
受取和解金	361	－
特別利益合計	362	558
特別損失		
固定資産除売却損	18	16
子会社清算損	11	－
特別退職金	171	30
訴訟関連損失	－	54
在外子会社における送金詐欺損失	－	136
特別損失合計	201	237
税金等調整前四半期純利益	6,038	9,065
法人税、住民税及び事業税	914	2,135
法人税等調整額	△321	△75
法人税等合計	593	2,059
四半期純利益	5,444	7,005
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,438	6,993

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年 1月 1日 至 2025年 9月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年 1月 1日 至 2026年 9月30日）
四半期純利益	5,444	7,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△1
為替換算調整勘定	△1,177	397
退職給付に係る調整額	△261	△452
その他の包括利益合計	△1,444	△56
四半期包括利益	4,000	6,949
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,003	6,922
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	26

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年 1月 1日 至 2025年 9月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年 1月 1日 至 2026年 9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,038	9,065
減価償却費	1,926	2,211
のれん償却額	284	2
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△149	△8
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△285	△742
受取利息及び受取配当金	△68	△197
支払利息	186	206
為替差損益（△は益）	158	216
固定資産除売却損益（△は益）	17	△541
子会社清算損益（△は益）	11	－
売上債権の増減額（△は増加）	△1,036	△541
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,894	△5,931
仕入債務の増減額（△は減少）	2,154	3,025
その他	△447	261
小計	6,895	7,027
利息及び配当金の受取額	68	195
利息の支払額	△186	△199
法人税等の支払額	△762	△1,599
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,014	5,423
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,941	△1,441
有形固定資産の売却による収入	7	1,235
無形固定資産の取得による支出	△310	△211
その他	△56	△110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,300	△528
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,100	△1,100
長期借入れによる収入	10,400	－
長期借入金の返済による支出	△1,888	△1,927
自己株式の取得による支出	△5,800	－
自己株式の売却による収入	72	－
配当金の支払額	△4,581	△4,465
その他	△560	△713
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,457	△8,206
現金及び現金同等物に係る換算差額	570	131
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,174	△3,180
現金及び現金同等物の期首残高	14,478	15,876
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,304	12,695

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、電子楽器事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

（１株当たり情報）

１株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後１株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 （自　2025年 1月 1日 至　2025年 9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自　2026年 1月 1日 至　2026年 9月30日）
(1) １株当たり四半期純利益	204円46銭	264円99銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	5,438	6,993
普通株主に帰属しない金額(百万円)	―	―
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	5,438	6,993
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,599	26,391
(2)潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	203円98銭	―
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(百万円)	―	―
普通株式増加数(千株)	62	―
(うち新株予約権(千株))	(62)	(―)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	―	―

（注）1. 役員向け株式給付信託及び従業員向け株式給付信託が保有する当社の株式を、１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算から控除する自己株式に含めています。なお、当該信託口が保有する当社株式の期中平均株式数は前第3四半期連結累計期間は174,843株、当第3四半期連結累計期間は156,999株です。

2. 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。